

第75期 中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第75期上半期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の事業概況をご報告申し上げるとともに、中期経営計画についてご説明させていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年11月

代表取締役社長執行役員

高橋秀彰



事業の概況

当上半期におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う制限措置の解除を受けて、国内の経済活動は徐々に再開しつつあるものの、諸外国における状況には地域差があり、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境下、当社グループは各分野の受注確保と拡販に努めるとともに新製品の開発と用途拡大に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて受注量が減少したこと、並びに前年同期は期初の受注残高が高水準であった影響の反動等により、当社グループの当上半期の売上高は前年同期比32.1%減の169億2千万円となりました。損益につきましては、営業損失は6億5千万円、経常損失は8億3千万円、親会

社株主に帰属する四半期純損失は8億4千万円となっております。

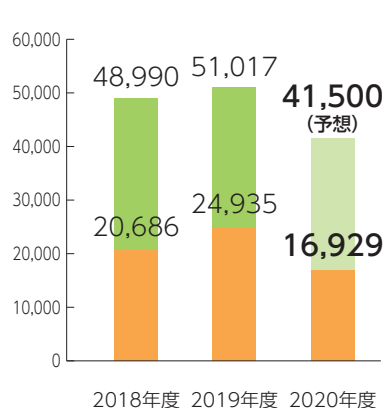
また、通期の連結業績予想に関しましては、当初予想の通り、売上高415億円、営業損失10億円、経常損失9億5千万円、親会社株主に帰属する当期純損失13億円を想定しております。

配当につきましては、安定的かつ継続的な株主への配当を基本方針としておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大が未だ収束する気配を見せず、先行きは極めて不透明な状況が継続していることから、引き続き手元流動性を確保することが最善であると考え、誠に遺憾ながら期中の配当は無配とさせていただきます。なお、期末配当は引き続き未定としております。

連結業績ハイライト

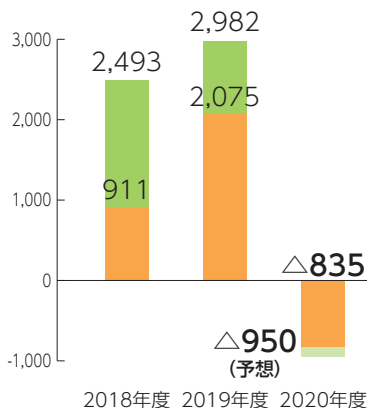
●売上高

(単位：百万円)



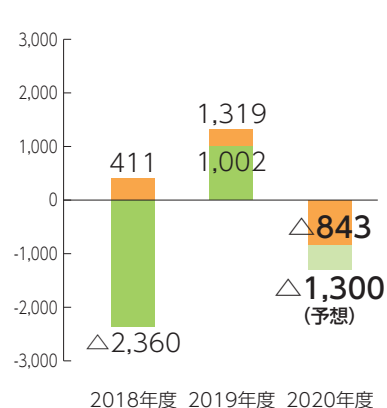
●経常利益(損失)

(単位：百万円)



●親会社株主に帰属する当期純利益(損失)

(単位：百万円)



(注) 過年度における会計処理に誤りがあることが判明したため、2020年9月4日付で誤謬の訂正を行っております。
2018年度における数値は、過年度決算訂正を反映した数値であります。

中期経営計画について



当社グループは、2020～2022年度の中期経営計画を策定しました。

これまで蓄積してきた技術やお客様とのパートナーシップを活かしながら、社会の変化に即した新たなニーズを掘り起こし、持続的に成長、発展する企業を目指してまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症の中長期的な影響を見通せないことから、数値目標につきましては今後の状況を見極めた後あらためて設定することとしております。

中期経営計画スローガン

「**持続可能な社会を支える世界一の「精密」を誰よりも先に創る**」というスローガンの下、事業ポートフォリオの再構築を進め、将来の収益基盤4分野にメリハリを効かせた経営資源を投下するとともに、新たな成長事業の創出にも取り組みます。また、ガバナンス・内部統制・コンプライアンスの強化も継続して取り組み、事業を通じて社会課題を解決してまいります。

持続可能な社会を支える 世界一の「精密」を誰よりも先に創る

- ・コンプライアンスを最優先し、透明性の高い経営を実践します
- ・時代の変化をつかみ、最先端の精密技術と精密なものづくりをたゆまず発展させ、社会に貢献します
- ・お客様の課題に真摯に取組み、お客様のニーズに応える我々の『精密』を提案します

収益基盤4分野を軸に 新たな成長事業の創出

- 事業ポートフォリオを再構築し、将来の収益基盤4分野にメリハリの効いた経営資源投下
 - ①航空宇宙事業
安全・安心な社会を支える精密加工・製造技術
 - ②熱マネジメント事業
地球環境に優しい省エネを支える精密な熱設計・解析技術
 - ③精密油圧機器事業
世界のものづくりを支える精密油圧技術
 - ④半導体製造装置・MEMS・センサ事業
スマート社会の5G、人工知能、ビッグデータ、高機能端末を支えるMEMS製造プロセス、デバイス・高精度センサ設計製造技術

経営基盤の継続強化

- 組織文化/意識変革
- ガバナンス・内部統制・コンプライアンスの継続強化
- 全社基幹システム刷新

中期経営計画について

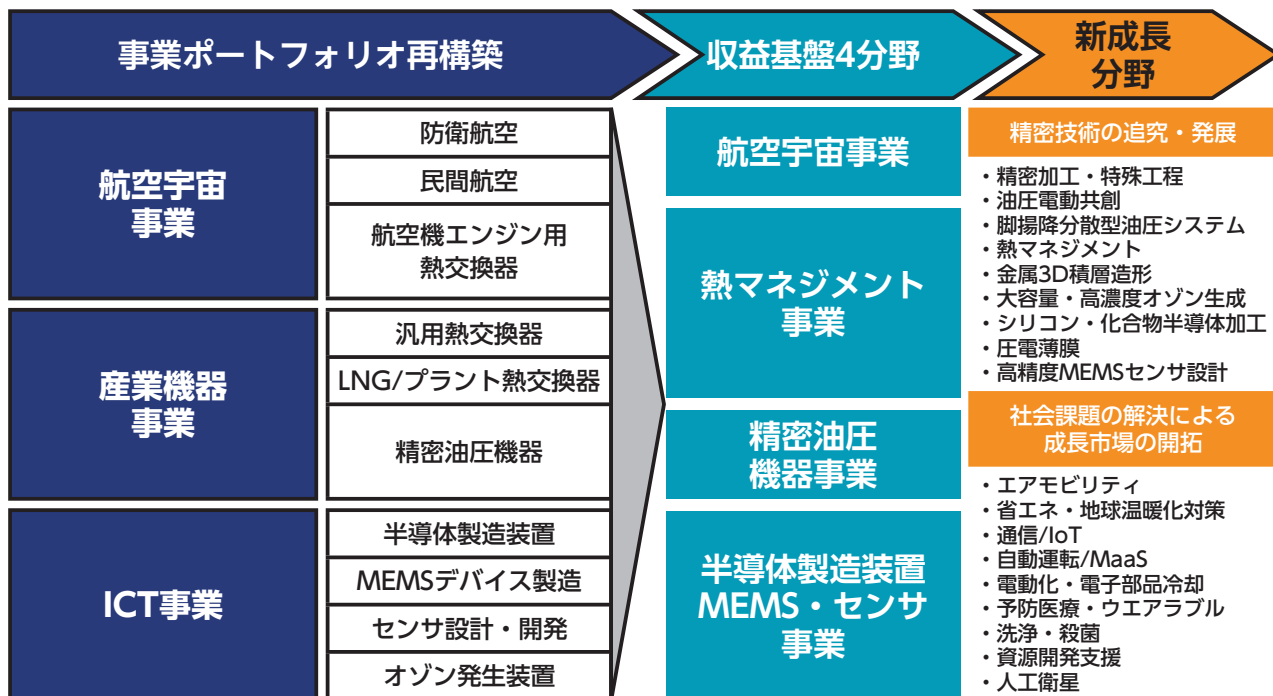


事業ポートフォリオ再構築から収益基盤4分野・新成長分野へ

急速な変化と厳しい競争環境下において、既存事業全てに注力するのではなく、リソースを投下して競争力を高め拡大する市場の中で成長する事業、オペレーションを最適化して強いコスト体質で高い収益を上げる事業、縮小・撤退してリソースを注力分野へとシフトさせる事業、それぞれの事業方針に合わせたメリハリのあるリソース再配分を行います。

近年、世の中の変化はますます激しくなる中、様々な社会課題が明らかになっております。当社グループでは、時代の変化を掴み、当社精密技術をたゆまず発展させ、また、社会課題の解決により成長市場を開拓することで新たな成長事業の創出にも取り組んでまいります。

収益基盤4分野と新成長分野のカギとなるのは、当社の原点であり、強さの源泉となる「精密」技術と「精密」なものづくりです。これらを追究・発展させ、様々な社会課題を解決しながら成長市場を開拓してまいります。



中期経営計画について



経営基盤の継続強化

組織文化/意識改革として住友事業精神や当社企業理念及び行動規範という自らの原点に立ち還ります。また、当たり前のこととしてガバナンス・内部統制・コンプライアンスの強化にも継続して取り組みます。さらに、経営と事業を支える次世代ITシステム基盤となる全社基幹システム刷新にも取り組んでまいります。

組織文化/意識変革

自らの原点に立ち還る

- ・住友事業精神
- ・当社企業理念及び行動規範

ガバナンス・内部統制・コンプライアンス継続強化

- ・ガバナンス強化諸施策推進
- ・三線ディフェンス構築
- ・コンプライアンス・品質・安全最優先

全社基幹システム刷新

- ・経営と事業を支える次世代ITシステム基盤の構築

住友事業精神『営業の要旨』

第一条

我が住友の営業は、信用を重んじ確実を旨とし、
以てその鞏固隆盛を期すべし

第二条

我が住友の営業は、時勢の変遷、理財の得失を計り、
弛張興廃することあるべしと雖も、苟も浮利に趨り、
軽進すべからず

※住友合資会社社則（昭和3年制定）より

当社企業理念『光かがやくその未来』^{ゆくて}

私たちは、独創的な未来技術で発展し続け、
豊かな明日を拓きます。

- ・法令等を遵守し、高い倫理観に基づき事業活動を行います。
- ・お客さまの満足とニーズを第一とし、魅力ある存在をめざします。
- ・時代の風を感じとり、世界に目を向け変化に挑戦します。
- ・人を大切にし、多様な個性の実現と調和をはかります。
- ・社会に心をひらき、環境、地域との調和、共存に努めます。

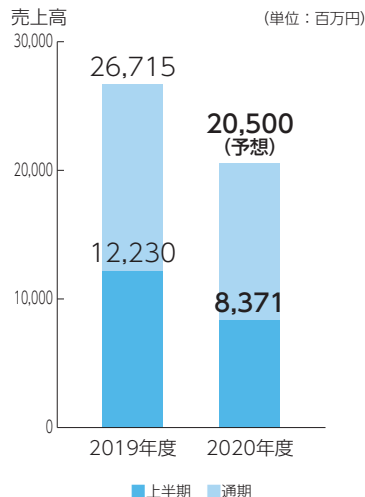
セグメント別概況

※当期より、経営・ガバナンスの高度化等を目的とした事業ポートフォリオの再構築を行い、報告セグメントを見直しております。



航空宇宙事業

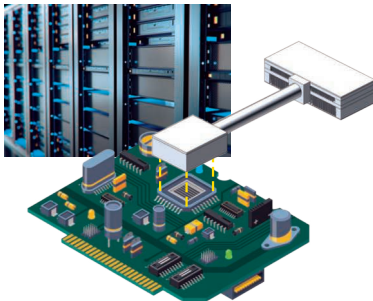
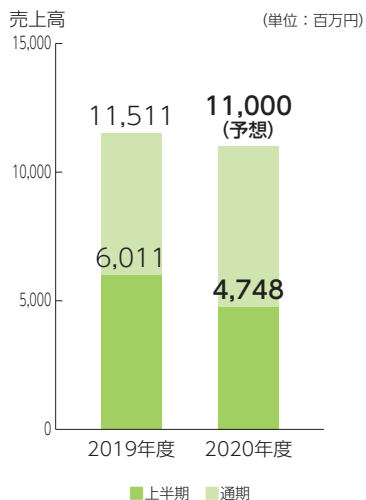
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う民間航空機向け機器の大幅な受注減少により、売上高は83億7千万円、営業損益は△5億2千万円（前年同期10億8千万円）となりました。



当社の航空機エンジン用熱交換器が搭載されたロールス・ロイス社製のTrent 1000[®]エンジン

産業機器事業

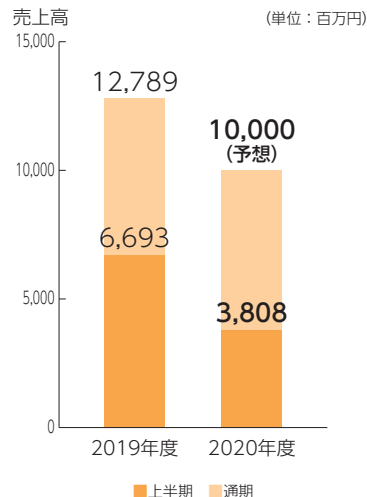
前年度に発覚したプレートフィン型熱交換器における不適切事案に関連して、同製品の営業および製造を一時的に停止していた影響により、売上高は47億4千万円、営業損益は△1億3千万円（前年同期5億2千万円）となりました。



データセンター向けサーバーのCPU冷却用に開発した小型・高性能な相変化型冷却器(フラットサイフォレックス)

ICT事業

MEMS・半導体製造装置において、当年度は顧客投資が一時的に減少する端境期にあたることから、売上高は38億円、営業損益は9百万円（前年同期6億5千万円）となりました。



シリコン深掘り装置“Proxion”

連結財務諸表 (要約)



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当上半期末 (2020年9月30日現在)	前期末 (2020年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	57,175	54,486
固定資産	22,972	22,998
有形固定資産	15,042	15,039
無形固定資産	1,296	1,367
投資その他の資産	6,632	6,591
資産合計	80,147	77,485
負債の部		
流動負債	40,038	36,003
固定負債	11,855	12,846
負債合計	51,894	48,850
純資産の部		
株主資本	27,536	28,380
資本金	10,311	10,311
資本剰余金	11,350	11,350
利益剰余金	5,977	6,821
自己株式	△ 103	△ 103
その他の包括利益累計額	△ 443	△ 913
その他有価証券評価差額金	259	148
為替換算調整勘定	△ 628	△ 453
退職給付に係る調整累計額	△ 74	△ 607
非支配株主持分	1,160	1,168
純資産合計	28,253	28,635
負債純資産合計	80,147	77,485

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当上半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	前上半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
売上高	16,929	24,935
売上原価	13,334	17,679
売上総利益	3,594	7,256
販売費及び一般管理費	4,246	4,995
営業損益 (△は損失)	△ 651	2,260
営業外収益	169	249
受取利息及び配当金	11	18
持分法による投資利益	90	184
その他	67	47
営業外費用	353	435
支払利息	99	99
為替差損	92	264
納期遅延損害金	120	2
その他	40	68
経常損益 (△は損失)	△ 835	2,075
特別利益	96	—
固定資産売却益	96	—
税金等調整前四半期純損益 (△は損失)	△ 739	2,075
法人税等	88	702
四半期純損益 (△は損失)	△ 827	1,372
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	53
親会社株主に帰属する四半期純損益 (△は損失)	△ 843	1,319

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当上半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	前上半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 701	1,384
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 786	△ 615
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,063	△ 884
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 21	△ 57
現金及び現金同等物の増減額	1,553	△ 173
現金及び現金同等物の期首残高	8,138	10,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,692	9,918

(注) 記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

会社概要

(2020年9月30日現在)

■ 商号	住友精密工業株式会社 Sumitomo Precision Products Co., LTD.
■ 設立	1961 (昭和36) 年1月
■ 資本金	103億11百万円
■ 本社・工場	〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町1番10号 電話 (06) 6482-8811
■ 東京本社	〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋一丁目2番2号 住友商事竹橋ビル4階 電話 (03) 3217-2810
■ 滋賀工場	〒525-0044 滋賀県草津市岡本町1000番地15
■ 和歌山工場	〒640-8404 和歌山県和歌山市湊1850番地
■ 名古屋営業所	〒448-0857 愛知県刈谷市大手町2番29号 INOビル4F
■ ホームページアドレス	https://www.spp.co.jp

■ 取締役、監査役及び執行役員

代表取締役 社長執行役員	高橋 秀彰	常務執行役員	綾 仁 正 人
代表取締役 専務執行役員	出口 雅敏	常務執行役員	石 丸 正 吾
取締役 専務執行役員	板 倉 健 郎	執行役員	南 宏 明
取締役 専務執行役員	速 水 利 泰	執行役員	矢 田 毅
社外取締役	川 村 群 太 郎	執行役員	八 木 正 一
社外取締役	三 坂 重 雄	執行役員	田 中 雅 彦
常任監査役 (常 勤)	高 橋 步		
社外監査役	森 恵 一		
社外監査役 (常 勤)	横 尾 幸 信		
社外監査役	三 原 秀 章		

(注) 当社は、川村群太郎、三坂重雄、森 恵一及び三原秀章の各氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株主へのご参考

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月
株 主 確 定 基 準 日	(1)定時株主総会・期末配当金 3月31日 (2)中間配当金 9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告 した基準日。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(ホームページアドレス)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公 告 の 方 法	電子公告 (https://www.spp.co.jp) ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告による公告をすることが できない場合は、日本経済新聞に掲載し て行います。

ホームページのご紹介

住友精密グループを総合的にご理解いただくために、当社ホームページ
もご参照ください。

<https://www.spp.co.jp>

株主・投資家情報 (IR) ページでは、最新の中期経営計画や業績などの
IR情報を随時更新しております。



UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

VEGETABLE
OIL INK

環境に配慮した植物油イ
ンキを使用しています。